

四万十市体験型観光受入研究会だより

大川筋地域振興組合の取り組み

今月号では、研究会メンバーの中でも多くの修学旅行生を受け入れている大川筋地域振興組合をご紹介します。

当組合は、カヌー体験から川遊び体験、草木染め体験（ハンカチ・Tシャツ）などいくつかの体験メニューのほか、民泊の受け入れも行っています。

7月23日には、奈良県の稲田塾（小学生対象の進学塾）の生徒約35人が高知体験合宿として、かわらつこでカヌー体験をしました。

稲田塾は毎年訪れており、昨年川遊び体験で四万十川の鮎の生態を学習したり、川エビを捕ったりと四万十川を満喫しています。

さらに、7月29日から8月3日にかけて、昨年に続き東京都の成城学園初等部約20人が2班に分かれ、川釣りや川遊びなどを含めた民泊を行います。

民泊では、家の裏の畑に野菜を採りにいったり、その取ってきた野菜を料理したりといった田舎では普段何気なく行っ

ていることが、都会から訪れる子どもたちにとっては新鮮な魅力となっており、受入れ側にとっても、孫が久しぶりに帰ってきたかのように嬉しい気分になります。

当組合は、修学旅行だけでなく、一般旅行向けにも魅力ある体験を開発、発信し誘客に努めていきます。



【問い合わせ先】

四万十市体験型観光受入研究会（観光課）

☎（34）1783